※※※※※※※※※※※※（飯田ふれあい交流センター）※※※※※※※※※※※※

こんにちは 飯田まち協 です

野津原町自治会連合会の皆さんが視察に訪れる！

９月２５日（木）に大分市野津原町の自治会連合会の皆さん１３名が飯田地区まちづくり協議会を視察に訪れました。

質問に答える森さん

ようこそ！ 九重町/飯田高原へ
野津原町自治会連合会 様
飯田地区まちづくり協議会

これには、飯田まち協の役員９名で対応しました。

視察は、飯田まち協の取り組みを説明し、連合会の皆さんから質問を受けるという形で進められました。

特に、飯田ふれあい夢食堂の取り組みや体育活動、ドライブインシアター等について質問が出されました。

午前１１時からの視察でしたが、あっという間に１時間が過ぎ有意義な意見交換ができました。役員の皆さん、お疲れ様でした。

質問に答える安部さん

中秋の名月と十五夜、そして満月
～名月必ずしも満月にあらず～

今年の「中秋の名月」は１０月６日でした。

中秋の名月とは、太陰太陽暦の８月１５日の夜に見える月のことで、「十五夜」とも呼ばれます。中秋の名月をめでる習慣は、平安時代に中国から伝わったと言われています。日本では中秋の名月は農業の行事と結びつき「芋名月」などと呼ばれることもあります。

今年は、１０月６日が中秋の名月、翌７日が満月。十五夜と満月の日付が１日ずれています。太陰太陽暦では新月（朔）の瞬間を含む日が、その月の朔日（ついたち）になります。

今年は９月２２日（新月の瞬間は４時５４分）が太陰太陽暦の８月１日、１０月６日が太陰太陽暦での８月１５日となります。一方、天文学的な意味での満月（望）は、地球から見て太陽と反対方向になった瞬間の月のことで、満月の時刻は１０月７日１２時４８分でした。

今年のように中秋の名月と満月の日付がずれることはしばしば起こります。次に中秋の名月と満月が同じ日付になるのは２０３０年です。

今年は、中秋の名月の近くに土星が見えるといわれていましたが、見ることが出来ましたか。

読書週間の歴史

終戦まもない１９４７（昭和２２）年、まだ戦火の傷跡が至るところに残っているなかで、「読書の力によって平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって１１月１７日から第１回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第２回からは期間も１０月２７日～１１月９日（文化の日を中心にした２週間）と定められ、この運動は全国に拡がっていきました。

そして『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。今、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間である限り、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに「本」が重要な役割を果たすことは変わりありません。

暮らしのスタイルに、人生設計の中に、新しい感覚での「本とのつきあい方」を取り入れて行きましょう！　（公益社団法人「読書推進運動協議会」）

１０月２７日（月）～１１月９日（日）は、読書週間。

2025・第 79 回「読書週間」標語　「こころとあたまの、深呼吸。」